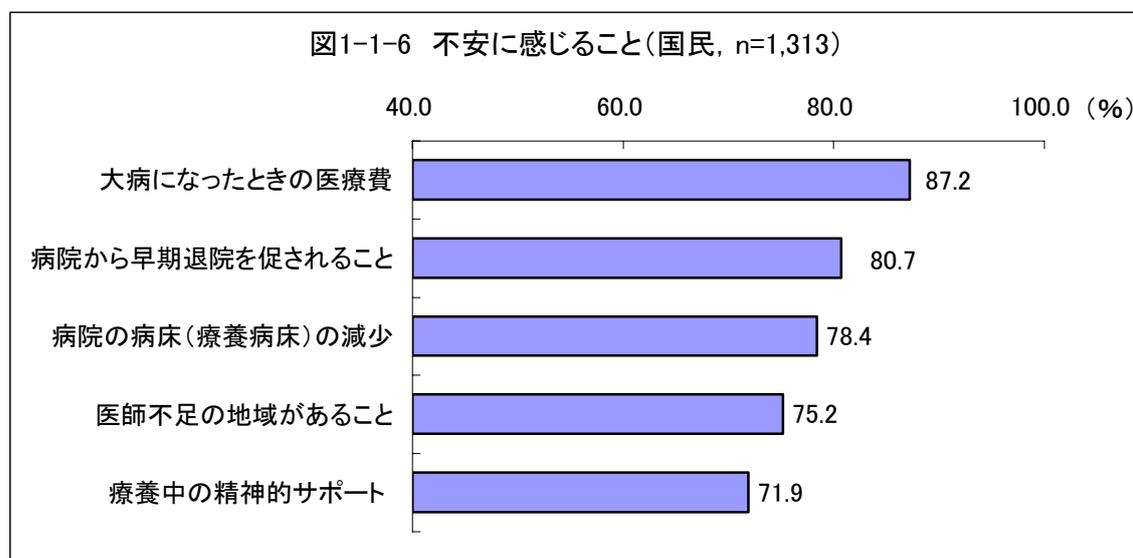


(2) 医療に関する不安と国民の求める医療

1) 医療に関する不安

国民が最も高い不安（とても不安+やや不安）を示したのは、「大病になったときの医療費」であり 87.2%の国民が不安と回答した。ついで「病院から早期退院を促されること」が 80.7%、「病院の病床（療養病床）の減少」が 78.4%であった（図 1-1-6）。



2) 在宅医療

国の在宅医療推進の流れのなか、在宅医療のためのインフラ整備が課題となっている。高齢者の自宅での在宅医療を進める上で、国民が最も問題に感じている点は、「支援する家族がいないこと」であり 33.6%と 3分の1を超えていた。ついで「支援するヘルパー等が不足」で 20.5%であった（図 1-1-7）。在宅医療については、住宅事情などのハード面よりも、人的資源に対しての不安や問題意識が高いことが判明した。